

ホール形態検討用資料

形式	特徴	イメージ	モデルコスト
平土間	<ul style="list-style-type: none"> 椅子を収納するとフラットな床面となり、音楽のほか会議や展示など多目的に活用できる 椅子や机の出し入れに手間がかかる 	 <p>愛知県産業労働会館 (300席)</p>  <p>上田市丸子文化会館 (300席)</p>	<p>客席数 250席</p> <p>延べ床面積 1,000㎡</p> <p>建設費 約6億円 (60万円/㎡)</p>
平土間 & 可動席	<ul style="list-style-type: none"> 電動の壁面収納式可動席や昇降式の床面を持ち階段状の座席とすることができる 多目的のフラットな空間を確保できる 可動席の保守コスト、歩行時の音や揺れ、収納式のため座席のデザインが限定的となる 	 <p>西宮市フレンテホール (300席)</p>  <p>安来市総合文化ホール (300席)</p>	<p>客席数 250席</p> <p>延べ床面積 1,000㎡</p> <p>建設費 約8億円 (80万円/㎡)</p>
固定席	<ul style="list-style-type: none"> 階段状の床面に座席が固定され、舞台もプロセニウム形式の本格的ホールまた、オープンステージのアリーナ型もある 音楽や演劇に適している 用途が限定的となる 	 <p>東大阪市文化創造館 (300席)</p>  <p>サンポート高松 (312席)</p>	<p>客席数 250席</p> <p>延べ床面積 1,000㎡</p> <p>建設費 【プロセニウム型】 約10億円 (100万円/㎡)</p> <p>【アリーナ型】 約6億円 (60万円/㎡)</p>

(モデルコスト出典：長崎県庁跡地活用整備可能性予備調査資料)